

収納率を向上させ、歳入確保を



石川 正議員

【議員】町税の平成19年度未納額387億円、不良損失240万円、収納率94%である。町税未納の実態はどうなのか。

【総務部長】未納者は1952人。平成15年からの継続者は1680人、この未納分で217億円になる。内19人で未納1.1億円に及び。平成20年度現年分の収納率は、個人税97%などで全体で98.2%である。

【議員】近隣市町と比べ収納率はどうか。

【総務部長】豊明、日進等近隣市町の現年分は98.5%、99.3%である。

【議員】1%アップで600万円増収になるが、収納向上策はどうするのか。

【総務部長】①コンビニ収納②県職員の協力を得て徴収③公的年金からの引落とし、などで改善させたい。

【議員】国保税の未納実態はどうなっているのか。

【健康部長】平成19年度滞納は、1789世帯、滞納額は451億円。収納率は、現年

分91.2%、過年度分12.0%、合計で71%である。過年度分は、78世帯、1.2億円になる。新規滞納世帯も増加傾向にある。

【議員】国保税の近隣市町の収納率はどうか。

【健康部長】日進ほか近隣市町は、93%前後である。

【議員】収納向上策は。

【健康部長】①町税との連携②分納指導③電話だけでなく現場に出向く、などで改善を図りたい。

特定健診の結果は

【議員】受診者数、メタボ・保健指導の状況は。

【健康部長】受診150名、受診率24%。健診結果は、メタボ131名、予備軍18名の計318名。保健指導167名である。

【議員】受診者は計画通りか。

【健康部長】計画は30%であり下回った。平成21年度は地域に出向き、もっとPRを図りたい。

災害発生時などいざという時に備えて 財政調整基金の見直しを



井俣 憲治 議員

【議員】財政調整基金の現在の残高は。

【総務部長】繰り入れ後は、約2億3200万円。

【議員】大災害の発生時、基金から住民1人あたりいくらのお金をまわせるか。

【総務部長】年度末は繰替運用のため、残高が1億300万円程になる。これで計算すると、1人あたり150円となる。

【議員】本町の財政の状況を他市町と比較すると。

【総務部長】東海財務局のデータでは、①積立金等が全国町村平均の約4程度。②借金は収入の14.1カ月分。収支額の何年分の借金かという数値は24年と全国平均を大きく上回る。収入に対して支出の割合が多く、身の丈に合った財政運営が行われていないといえる。

【議員】何らかの対応を

【総務部長】現状を真摯に受止め、収納率向上、遊休資産の売却等で財政調整基金の確保に努める。

入札改革

【議員】入札改革による具体的な成果はどうか。

【総務部長】事後審査型一般競争入札で、平成18年度は約2600万円、平成19年度は約1億1450万円の経費を削減した。

下水道事業

【議員】下水道特別会計の借金は約80億円もある。徴収努力はしたか。

【経済建設部長】接続率の低い所もある。積極的に呼びかけている。

【議員】事前に町民に接続工事の呼び掛けは。

【経済建設部長】現在工事中の白土地区で行う。

子育て環境の整備

【議員】一時保育の現状は。

【福祉部長】理由を問わず利用できる西部保育園は利用者が多い。緊急時のみの諸輪・南部保育園では利用者が殆どいない。

【議員】諸輪・南部でも利用の制限をなくしては。

【福祉部長】検討したいが予算上の問題も大きい。